



陸上競技場

須藤 功

問 盛り上がりがあり、でこぼこで亀裂もある。この件は把握しているのか。
スポーツ振興課長 把握しています。



陸上競技場のコース

問 スタンドにも亀裂がある。コンクリート構造物が崩落してしまいうような危険な箇所があるが、把握しているのか。
スポーツ振興課長 亀裂は把握しています。

問 走るところはトラックで危ない。支障がないなんて言っただけじゃない。岩沼市はそれに対し鈍感なのか。危なくないのか。
教育長 走路は傷んでいます。それに注意して、我慢して走ってもらっています。

問 エアポルトマラソン大会には県内外から来る。でこぼこの競技場を走らせるリスク、恥ずかしい

と思う。我慢して走っていただけと言われると、がっかりするが。
教育長 走路については十分走る状況にあります。危険であれば閉鎖します。

スポーツ振興くじ活用し

問 スポーツ施設改修に、国が補助金を出す仕組みはない。スポーツ振興くじの手引きによると、改修するのに最大1億円の助成がある。やる気はないのか。
市長 それらを含め財源の手当てをし、公共施設等総合管理計画をつくっています。その中には陸上競技場も公共施設と位置付けていますが、その前にやらなければならぬことがあります。

問 陸上競技大会があったころは、市内に泊まっていた。施設なくして経済効果はないと思うがどうか。
市長 陸上競技場で経済効果を上げるという発想は、私は強くございません。

◎その他の一般質問
 ・市民バス事業見直し



学力向上への取組

布田 恵美

問 今年4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果について、市内小学校の成績と特色的傾向はどうか。
学校教育課長 成績については、

国語A、算数Bは県平均と同等で、国語Bは県平均を上回り、算数Aは全国平均を上回っています。特色的傾向は、無解答率が低く、最後まで頑張ろうという意欲が分かったことです。

問 今後の指導にどのように生かしていくのか。
学校教育課長 正答率が低かった問題の理解を深めていくこと、また質問紙の分析課題や恥ずかしさを克服するため、発表する機会を増やし、指導していくことが大事だと考えます。

今後も岩沼学び塾継続を

問 岩沼学び塾事業として、放課後や夏休みに学びの場を開催している。参加者の声はどのようなものがあるのか。
学校教育課長 児童生徒から非常に好評で、「先生が丁寧に教えて

くれたのでわかりやすかった。集中して学習できた」「また学び塾があれば来たいです」の声が寄せられています。

問 学習支援者の大学生にとって子どもたちと向き合い、良い職業体験の場にもなり、貴重な場となっている。学校の授業や塾などの学びもあるが、学び塾で異なる学校の児童生徒が切磋琢磨して学び、単なる知識があるだけでなく、柔軟に思考することや、与えられた仕事をこなすだけではなく、自ら積極的に課題を見つけ、その解決策を模索し、実行していく力がこれからの時代に求められている。ぜひ、これからも岩沼学び塾事業を継続してほしいと願うが、どうか。
教育長 これは続けていきたいと思えます。子どもたちにとっても定着し、参加する子どもが増えています。自分の意思で入る子どもたちが増えることにより、ますます学びが意欲も高まると思えます。

◎その他の一般質問
 ・防災力の向上